

# 川前のケイ石山で 二名が生埋め

さよう午前に死体搬出か  
川前村大字上樋賣字小久田地内にある大島工業所  
責任者(大島鉄十)で昨十一日午前九時半頃硅石採  
出場で作業していた九名のうち同村宇庭田新妻春  
三さん(三)同村字矢田谷地矢内盛次さん(二)同村  
字敷上松本智幸さん(二)の三名が生埋めとなり即  
時救出作業にとりかゝつたが作業意の如く進まず  
遂に同日の救出は困難となり遅くも今十二日午前  
中には死体を搬出出来るものと見られる

## 県教出張所長會議

縣下教育委員出張所長會議  
は来る二十二、三の兩日小  
名濱町第一小校で開催する  
か當日は  
改正教職員免許法、二十  
五年度へキ地校の指定、  
標準義務教育費の確保運  
動、教科書展示會、長期

## 神谷氏助役に

さようの市會で決定

平市臨時市會は十二日午後可決後助役定數を三名に  
一時から招集神谷合併によ増員し同時に神谷村長神谷  
る二十五度追加更生豫算市郎氏を助役とする件を可  
同更正定數並に參與設置條例改正した  
例改正、支所設置條例改正

小名濱、江名など大きな町

毎週水曜日発刊 購讀料  
印刷人光山徳平  
編集發行人後藤幸夫  
一ヶ月三十円一部  
一四

市白銀十一  
電話(呼)一〇三八番

かれる社會事業大會準備打  
合會は十四日市役所で市、  
地方事務所代表二名、縣當  
局から若干名出席の上大會

の日程緊急動議の取扱方研  
究協議方法大會議長、副議  
長の選任次期大會會場の打  
合等について協議する

優良乳兒など表彰  
既報、不幸なる兒童を養育  
した里親並に優良乳兒に對  
する表彰式は今十二日午後  
一時より平市役所會議室で  
行はれたが知事の金一封は  
百名のうち代表六十余名は  
五名を輪旋する

佐藤所長の自宅を訪れたが所長  
は遂に姿を見せない爲めな  
所長の自宅を訪れたが所長  
は十二日は所長も立場に窮ら  
いわき民報ホールで開催  
し電話で縣に連絡した結果  
県でも自由労働者が叫名、監事三名の改選を行  
うとして引揚げた

木縣塙原の公共事業に三十  
五名を就労斡旋し今十二日  
出發したが尙近日中に三十  
五名を斡旋する

五五〇円より

八五〇円より

五五〇円より

アブレの日には  
生活保護法を適用か

新綠の候に召しませ新柄を

プリント服地(ヤール) 五〇円より  
サージ服地(ヤール) 一〇〇円より  
銘仙新柄 五八〇円より  
伊豫カオリ 五五〇円より

タオル寝巻 五五〇円より

平信組総會 五〇〇圓マテ

實用衣料 五〇〇圓ヨリ

均一にてサービス品提供

伊豫カオリ 五五〇円より

平市四丁目 五五〇円より

小野榮吳服店 電話五一五番

初夏!

新綠の候に召しませ新柄を

プリント服地(ヤール) 五〇円より  
サージ服地(ヤール) 一〇〇円より  
銘仙新柄 五八〇円より  
伊豫カオリ 五五〇円より

タオル寝巻 五五〇円より

平信組総會 五〇〇圓マテ

均一にてサービス品提供

伊豫カオリ 五五〇円より

平市四丁目 五五〇円より

小野榮吳服店 電話五一五番

初夏!

新綠の候に召しませ新柄を

プリント服地(ヤール) 五〇円より  
サージ服地(ヤール) 一〇〇円より  
銘仙新柄 五八〇円より  
伊豫カオリ 五五〇円より

タオル寝巻 五五〇円より

平信組総會 五〇〇圓マテ

均一にてサービス品提供

伊豫カオリ 五五〇円より

</div

# 早くも海の宣傳

四倉觀光協會で懸賞寫眞募集

四倉町觀光協會では海のシーズンを迎えて今夏は大々的に海の宣傳に乗り出す事になり波立薬師から海水浴場、新舞子等の絶景をバッタとした寫眞を一般から募集すると共に優秀作品を各月六月十日キヤビネ型である

## 古河炭礦山神祭

古河炭礦の山神祭はストが祟つて延期して來たかいよ来る十四、五の二日間執行するが余興に帝都から一流歌謡人を招いての豪華演藝大會を催す。

### 山崎氏寄附

貧困兒童救濟の爲湯本觀光協會長山崎武頼氏はこの程町の困る兒童のため六十圓を「まこと子供會」に寄附したが山崎氏は同町の少年保護協會長で児童福シの爲にも大いに活躍している。

大井川さん表彰  
十二日のナイチングール百三十年祭に當り縣衛生部は婦さん七名を表彰したが湯本炭礦病院の大井川政子さんもその一人に選ばれた。

スリの中學生  
腕にヒロポン注射  
内郷中學一年生の某少年  
△△△は平市内三町目大黒屋

地に掲げて客の誘致に全力を傾注するが入選した優秀な寫眞には一等から三等迄に一等旅館の一泊券とお土産を贈る事になつていて、申込みは同會宛で締切り

△△△茨城御用聞きも油断がなりません。那珂郡のさん方にこの程今見られている

命には別條ない原因は家庭の不和と生活苦からと晚ワお魚屋ですが」と立上つたところ魚屋は手拭で頬かぶりしサミ包丁をつきつけ「金を出せ」とおひやかし千五百圓を奪つて逃走した

の貞子さん△△△がハイと

行以内で建設書を歡迎いた

的な意見の投書を

します(係)

天聲

十一字詰三十

行

立上つたところ魚屋は手

拭で頬かぶりしサミ包

丁をつきつけ「金を出せ」とおひやかし千五百圓を

奪つて逃走した

の貞子さん△△△がハイと

立上つたところ魚屋は手

拭で頬かぶりしサミ包

丁をつきつけ「金を出せ」とおひやかし千五百圓を